

## 秋の夜長に、サステナブルな灯りとともに江戸文化に没入 「太陽光を灯す行燈 <EN>が照らす 柳橋・江戸の夜会」を開催

2025年9月23日(火・祝)「ルーサイトギャラリー」にて

ソネングラスジャパン株式会社は、「和文化の継承と発信」、そして「再生可能エネルギーを取り入れた持続可能な暮らしの提案」を目的とし、江戸文化に焦点をあてたイベント「太陽光を灯す行燈 EN(えん)が照らす 柳橋・江戸の夜会」を開催いたします。会場は、かつてひとりの美しい芸者が暮らした隅田川沿いの邸宅を改装した「ルーサイトギャラリー」(東京都台東区浅草橋)です。和の伝統文化を、火に代わり太陽光で明かりを灯す現代の行燈ソネングラス® EN(えん)で演出する五感体感型の企画として、江戸文化に焦点をあて、江戸時代の隅田川の情景を表現した日本舞踊・長唄の名曲「都鳥」を、三味線の美しい音色と「EN」の灯りと共にお届けします。



### 開催背景

フェアトレードと再生可能エネルギーをより美しく・身近に取り入れるライフスタイルを提案してきたソネングラスは、「必要な分だけをその時々で得られる資源で作り、受け継がれてきた」日本の伝統工芸こそが、現代社会が目指す持続可能性のひとつの理想形であるとの再解釈をしました。その思想から生まれた製品が、ソネングラス® EN(えん)です。「EN」は、みやび行燈製作所の職人により静岡の伝統的工芸品・駿河竹千筋細工の技法を用いて仕立てられる竹と木材による自然素材100%のシェードと、フェアトレード照明ブランドSonnenglas®の最先端太陽光テックを搭載したSOMO(ソモ)を照明ユニットに採用した21世紀の行燈です。本製品は環境・社会の両面で持続可能性に貢献しながら、現代の暮らしに息づく新たな伝統的工芸品の姿を提案し、初回入荷分が1ヶ月足らずで完売するなど、大きな反響を呼びました。本イベントは、「EN」が体現する「伝統の継承」に改めて光を当て、志を同じくする「江戸ケーション(江戸文化xエデュケーション)」ブランドなどの文化体験プログラムを通じ、江戸時代から連続と受け継がれてきた日本文化を、担い手から直接学べる機会を創出する「うつくしいにっぽん」とともに開催する運びとなりました。

## 空間演出のコンセプト

— 今ある、美しいもの。

それは、長い時のなかで大切に愛され、私たちのもとへと受け継がれてきたものです。現代に生きる私たちがそれを受け取り、日々の暮らしの中で慈しみ、“いま”の感性で楽しむこと。それが、次の世代へとこれまで受け継がれてきた伝統文化を手渡してゆくことにつながると、私たちは信じています。

伝統とは、過去の遺産ではなく、今を通して未来へと続いてゆくもの。

このイベントでは、「EN」の灯りのもと、“今ある、美しいもの。”を来場者の皆さまと共有し、そのバトンを未来へと託してゆくことを目指します。

## 上演演目紹介

江戸時代、灯りは贅沢品であり、文化の象徴でもありました。今回の会場ルーサイトギャラリーの位置する「柳橋」は、かつて江戸随一の花街として知られ、舟遊びや芸事を愛する多くの粋人たちが集った場所でもあります。上演される長唄「都鳥」は、安政2年(1855年)に伊勢屋喜左衛門が作詞、二代目・杵屋勝三郎が作曲した作品です。伊勢屋喜左衛門は、当時、浅草蔵前の札差であり、粋な文化人であったと言われています。この曲は、春から夏にかけての隅田川の風物詩や、屋形船での男女の情景を巧みに描き、江戸情緒あふれる長唄の傑作と称されています。現代に蘇った「EN」の行燈の灯りのもと、江戸を生きた人々の息づかいを感じながら、その美意識や人の世の姿を浮かび上がらせ、日本文化の繊細な精神性にそっと身を委ねていただければ幸いです。

## 「太陽光を灯す行燈 EN(えん)が照らす 柳橋・江戸の夜会」イベント概要

- 日時 : 2025年9月23日(火・祝) 17:45開場 / 18:30開演
- 場所 : ルーサイトギャラリー(〒111-0052 台東区柳橋1-28-8)
- 定員 : 20名(完全予約制)
- 内容 : ・昭和の芸者・歌手 市丸が暮らした邸宅を改装した「ルーサイトギャラリー」貸切開催
- ・「Sonnenglas® EN(えん)」の灯りによる空間演出
  - ・経済産業大臣指定の伝統的工芸品 駿河竹千筋細工展示 および みやび行燈製作所 職人による講話
  - ・隅田川を舞台とした日本舞踊作品・長唄「都鳥」貸切上演、地方解説
  - ・呈茶、軽食、日本酒の提供
- ※プログラム内容は一部変更となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。
- チケット価格 : ¥50,000(税込) / 人
- チケット販売 : <https://sonnenglasnippon.peatix.com/> (Peatix)



## ソネングラス® EN(えん)について

「ソネングラス® EN」は、100%太陽光で灯るソーラー照明ユニットと、みやび行燈製作所の職人が仕立てた繊細な竹細工を組み合わせたサステナブルな“21世紀の行燈(あんどん)”です。日本の伝統工芸職人の手仕事による繊細な竹細工の美しさと、最先端のグリーンテクノロジーが融合したことで、伝統の技を現代のライフスタイルに取り入れるアイテムが誕生しました。本製品の開発にあたっては、日本の伝統工芸が持つ「必要な分だけを使い、長く大切に使う」という精神に着目。

職人が一つひとつ手仕事で仕上げる行燈シェードと、電気を使わずに灯る最先端のソーラーテクノロジーを掛け合わせることで、「暮らしに寄り添う工芸品」としての価値を持つ照明を目指しました。



### ■ソネングラス® EN(えん)主な特徴について

- ・太陽光で充電可能: 電気を一切使わず充電をすることができます。※USB-C充電にも対応。
- ・駿河竹千筋細工の技法を用いた仕立て: 伝統的工芸品としての価値を持つ、暮らしの道具です。
- ・100%天然素材のシェード: 竹と木材(ウォルナット材)のみで仕立てられています。
- ・置き香入れとしても使用できる五感設計: 中に火を使わないお香などを入れることにより、置き香入れとしても使用することが可能です。そのまま明かりを灯すことで「香る光」が心地よい空間を演出します。

### ■ソネングラス® EN(えん)製品概要

|      |   |
|------|---|
| 製品名  | : Sonnenglas® EN  |
| 素材   | : 竹、ウォルナット材(底部)、SOMO ソーラーライト(ソーラーモジュール)                       |
| 充電方法 | : 太陽光充電 / USB - C充電対応   |
| 点灯時間 | : 通常使用約30時間(光量5lmに設定することで最長約100時間)                            |
| 販売価格 | : 15,000円(税込)※SOMO ソーラーライト別売り                                 |
| 販売場所 | : <a href="https://sonnenglas.jp/">https://sonnenglas.jp/</a> |

## 主催者について

### ■ソネングラスジャパン株式会社

太陽の光だけで明かりを灯す照明製品のフェアトレード生産と販売を行う社会的企業。Sonnenglas®の製品は全て南アフリカ共和国でフェアトレードを通じハンドメイドにより製造され、これまで累計400万個を販売しており、世界で最も失業率の高い地域の一つと言われる南アフリカ現地の雇用の安定にも寄与しています。

静岡の伝統的工芸品〈駿河竹千筋細工〉の製作を担うみやび行燈製作所と協働して開発した新製品 ソネングラス®「EN(えん)」は、自然と調和した持続可能なライフスタイルの提案、時を重ねて受け継がれてきた伝統の継承、そして南アフリカでの雇用創出など、多方向に社会へのポジティブな変化をもたらすことを目指して開発された製品です。今回のイベントでは、伝統的工芸品の技法によって生産される持続可能な灯りによる演出を通じて、日本文化の魅力を発信することを意図し、うつくしいにっぽんとのイベントを共催します。

<https://sonnenglas.jp/>

### ■うつくしいにっぽん

「江戸ケーション(江戸文化 x エデュケーション)」ブランドなどの文化体験プログラムを通じ、江戸時代から連綿と受け継がれてきた日本文化の担い手から直接学べる機会を創出。文化資源を教育・観光・地域振興の視点で再編集し、国内外に向けた日本文化の発信・継承に取り組む。

<https://youtu.be/sfbS5Ghsp34?si=7R9P5WTmNt2CnsSU>

### ■ルーサイトギャラリー(会場)

昭和の流行歌手・市丸(江戸小唄の市丸姐さん)の邸宅を改装し、2001年に骨董店としてオープン。陶芸・漆芸など作家による工芸品や骨董品を取り扱い、戦後建築の美意識と調和する調度品を揃えている。ギャラリーが建つ柳橋は、かつて江戸屈指の格式を誇った花街でした。料亭文化が衰退する中、ルーサイトギャラリーは「柳橋に再び人々の笑い声を取り戻すこと」を大きな目的の一つとし、この場所を通じたさまざまな催しを通して、文化の継承や人々の交流を育んでいる。

<https://lucite-gallery.com>

## 「ソネングラス®」誕生のストーリー

開発のきっかけは、電気の供給が不安定な南アフリカに住む人々の生活でした。南アフリカでは、安全面や環境面で害のある、ケロシンランプやろうそくの利用が一般的で、火事や健康被害が多発しており、その危険性を少しでも減らそうと本製品が開発されました。現在では、南アフリカでは生活必需品として、ドイツを始めとするヨーロッパ諸国ではインテリアやアウトドアアイテムとして広く親しまれています。

「ソネングラス®」は、ソーラーエネルギーの活用、金属と瓶部分の全てがリサイクル可能であるなど環境にも配慮しています。そして全ての製品は、南アフリカ共和国のヨハネスブルグで生産されており、製品の70%は現地の素材を使用しています。さらに、失業率が40%を超えると言われる同国で、機械導入による費用削減ではなく敢えてハンドメイドでの生産体制にこだわり続けることにより、現在までに70人以上の失業者に雇用を生み出しています。「ソネングラス®」は南アフリカの人々の毎日に安心をもたらしただけでなく、世界中の人々の心をも照らす灯りです。